



斉藤 美月さん (北町)

◎成人式実行委員になって

友達の輪も広がり実行委員会もとても楽しく活動できました。自分たちで企画、運営するのは大変でしたが、とても思い出に残るいいものになったと思います。久しぶりに会う友達と近況報告したり、馬鹿話したり騒いだりして、やっぱり地元はいいと感じました。

私は今、デイサービスで夢だった介護の仕事をしています。利用者の皆様から自分に対する評価を常に



西塚 眞治さん (鶴子)

◎成人式にあたり

真夏のような異常な暑さが少し和らいだ平成24年8月15日、私は成人式を迎えました。実際何かが変わったわけはありませんが、大人の仲間入りを嬉しく思う一方で、一社会人としての責任感と不安とで素直に喜べないのが今の心境です。私は実行委員として大したことはできませんでしたが、他の委員と成

ただけるので、関わり方を改めるきっかけになったり、「お前の笑った顔一番だな。」等の一言で元気をもらったりでき、介護やって良かったと思えるやりがいのある仕事です。これまでの社会を作り上げてきた人生の大先輩である利用者の皆様に対し、尊敬や感謝の気持ちを忘れず、よりよい社会に貢献することでも少しでも恩返しできればと思っています。思いやりの気持ちと元気で笑顔でこれからもがんばっていきます。

9月30日、市ヶ谷の私学會館にて第28回首都圏尾花沢会総会に参加しました。首都圏に住んでいる約100名の人が集まり、思い出話に花が咲きました。私たちが、花笠踊りを披露し、ヤッショーマカシヨの掛け声をいただき、楽しい夕べを過ごしてきました。



首都圏尾花沢会総会・懇親会

行政調査に来市された議会

◎8月7日

熊本県山鹿市議会

総務文教常任委員会 8名  
・調査内容／緑のふるさと協力隊について

あとがき

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、連日の酷暑も彼岸入りでようやくおさまった感じがします。市民の皆様、本当に厳しい夏でした。9月の定例会は酷暑の中で23年度決算を中心に汗にまみれて厳正なる審査を終えることができました。

今議会より、本会議のインターネット中継がスタートして、自宅でも本会議の様子を視聴することが可能となり、市民の皆様と議会との距離が一步縮まったように感じられます。また、録画中継も行っていますので、後日繰り返し視聴することもできます。今後一層開かれた議会を目指していきます。

議会が閉会しましたら、稔りの秋。黄金色の穂波の中で、コンパインの躍動が一気に高まった尾花沢の原風景です。(菅野修一)

市議会だより編集委員

- ◎大類 好彦 ○塩原未知子
- 菅野 修一 武田 佳久
- 青野 隆一 星川 睦子
- 小関 英子

◎委員長 ○副委員長  
発行／山形県尾花沢市議会  
編集／市議会だより編集委員会



市のホームページからアクセスできます。



明德小学校

第75号 / 平成24年10月15日

市議会だより

平成23年度一般会計決算など  
24議案を可決

来年4月に宮沢小学校(旧宮沢中学校校舎)に統合される明德小学校と高橋小学校の  
閉校記念秋季大運動会集合写真



高橋小学校

7月臨時会 / 9月定例会

- \*補正予算・議案の審議...2
- \*決算特別委員会...3
- \*分科会委員長報告...4
- \*一般質問...6
- \*可決された議案・請願 / 意見書の審査結果・広域組合議会...10
- \*私のひとこと...12

# 平成23年度決算を認定

一般会計歳出	110億	996万円
特別会計歳出	56億	5,032万円
<b>歳出総額</b>	<b>166億6,028万円</b>	

平成24年9月定例会は、9月3日から9月18日まで16日間の会期で開催されました。3日は、加藤市長より市政の概況報告が行われ、その後平成23年度の決算議案が7件、平成24年度の補正予算案が4件、尾花沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての9案件、計19案件の提案理由の説明があり、補正予算案は審議の結果、原案通り可決されました。また請願4案件については、各常任委員会に付託して審査をし、5日、6日の一般質問では8名の議員が市政全般にわたり、市当局の考えを質しました。

その後、全議員で構成する決算特別委員会を設置し、総括質疑を行うとともに、3つの分科会を設置して慎重に審査を行いました。

最終日には本会議が開催され、平成23年度決算議案7案件、その他の議案8案件と追加上程された議案4案件は、審議の結果いずれも原案通り可決されました。また、任期満了となる尾花沢市教育委員会委員2名を任命する案件についても全会一致で同意し閉会しました。

## 7月臨時会

**質** 道の駅尾花沢『ねまる』に太陽光発電を設置した場合、削減される電気料は指定管理料から相殺されるのか。

**答** 新規事業ということで、JAみちのく村山と今後具体的な協議を進めていきます。

## 9月定例会

### 補正予算の審議

**質** 市職員のB型肝炎ワクチンについて、消防署や医療機関での実施状況はどうなっているか。

**答** 総合検診で抗体検査を行い、抗体のない者に対しては、公費で



福原中学校 地産地消給食「たっぶり尾花沢の日」

**質** ワクチン接種を実施しています。

**質** 学校給食地産地消促進事業補助金とは、どのようなものか。

**答** 県産品を食材として使用した一年間の学校給食約1万5千食に対し、1食単価15円を助成しています。

**質** 平成23年度の年間除排雪費はどれくらいか。

**答** 除雪費が3億5千万円、排雪費が1億9千万円です。

**質** 創意工夫プロジェクト支援事業補助金の主なものは何か。

**答** ふるさと宅配プロジェクト、尾花沢産大豆産地化プロジェクト、荒廃農地復旧によるそば産地化プロジェクトの3団体です。

**質** ふるさと応援基金の残高はどの位あるか。寄付した人の気持ちを考えてさらに活用を図るべきではないか。

**答** これまで2千422万円の寄付があり、芭蕉真筆購入費849万円を含む1千279万円を支出し、1千183万円の残高です。活用方法については、使途選定委員会で検討します。

**質** 長根山の圧雪車はいつ購入したのか。ときどき故障するため、大会運営に支障のないようにしてい

ただきたい。

**答** カナダ製のものを平成16年中古で購入しました。修繕しながら今後も使用していきます。

### 議案の審議

尾花沢市花笠高原施設などの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

**質** 市内在住の中学生以下の使用料を無料にする改正の目的は何か。いくら減免になるのか。

**答** 少子化対策の一環として、多くの人に足を運んでもらえるよう無料化するもので、およそ83万円の減免が見込まれます。

### 決算特別委員会

尾花沢中学校体育館の排煙窓を改修すべきと思うがどうか。

**答** 現場を確認し緊急度合を考慮して対策を検討します。

**質** 統合後の寺内小学校と宮沢小学校のプールについての取り組みはどうか。

**答** 宮沢小学校は、パレットスクエア内のプールを利用し、寺内小学校は、気温・水温を維持するためにビニールハウス利用のプールの建設を検討しています。

**質** 自主防災組織の現況はどうか。

**答** 94集落全部で立ち上げています。地域別のハザードマップを作成し、防災意識の向上を目指していきます。



毒沢地区のハザードマップ

**質** 農業集落排水事業で宮沢西部地区の接続率はどれくらいか。

**答** 接続するための自己負担金と受益者負担金が高額になることから接続率52・2%と低い状況ですが、引き続き接続を推進していきます。

**質** 路線バスの効率的活用や高齢者の利便性のためにデマンド化をする考えはあるか。

**答** 利用者の人数に合わせてバスの小型化をしています。デマンド化は採算の問題があるので調査検討していきます。

**質** 除排雪対策で地域の要望を聞くとともに、高齢者への負担軽減

を図ってはどうか。

**答** 除雪時期前に、各区長からの要望などを確認して各地区の実態に合わせて対応していきます。

**質** プレミアム商品券の購入希望者が多く、その対策はどうしているか。

**答** 15%のプレミア付が人気であり、一人10セットから5セット販売にして多くの方が利用できるようにしました。

**質** 税金の滞納者に対する差し押さえはどのようにしているか。

**答** 差し押さえは装飾品や家具など、本人の同意を得て行っています。

**質** 今後、福原工業団地の環境整備をどう進めていくのか。

**答** 空き工場対策、外灯設置、看板の配置などイメージアップを図っていきます。



福原工業団地

**質** 3・11後の震災原発事故による風評被害に対する保障問題の進展はどうか。

**答** 一般会計では27万3千円、簡易水道関係では18万5千円、畜産関係はJAを通して、18億3千万円の請求に対して15億7千万円が確定しています。商工関係は県旅館ホテル業界に対する賠償対象期間は、平成23年3月11日から平成24年2月末までになりました。

**質** 統廃合に伴う明徳小学校のグラウンド跡地の利用はどうか。

**答** 明徳小グラウンド跡地は、正殿・丹生・安久戸地区の指定避難所として利用します。市内では42カ所を指定避難所として具体的に地区名を決定しています。各地区では随時防災会議などを行っています。

**質** 市民所得を増やすための施策はどうか。

**答** 基幹産業である農業を活かして1次産業から6次産業へ生産性の高い事業を推進します。

**質** ふるさと暮らし応援事業に新たな追加事業はありますか。

**答** 消雪装置設置助成事業・若者民間賃貸住宅家賃助成事業に加えて第5期平成23年から25年に再生エネルギー活用住宅建設等助成事業を考えています。

**質** 老朽化した橋梁について調査はされているか。

**答** 専門家の目視による点検を数

# 決算特別委員会

## \*分科会委員長報告\*

の解体等に係る費用で地方負担軽減のための補助制度の創設など財政支援を国に要望中です。

ふるさと暮らし応援事業では、除雪機購入費助成や若者賃貸住宅家賃助成を行うとともに、尾花沢ハンドブックを転入者に配布をしています。

指定避難所へ非常用発電機・無線機などの配備済みの説明があり、避難物資の充実と防災行政無線などの整備について要望し、これを了承しました。

付託案件は慎重に審査した結果、いずれも全会一致で原案どおり認定すべきものと決定しました。



転入者に配布している尾花沢ハンドブック

### 第1分科会

(総務文教)

自主財源である市税等の未納者については、地方税法に基づいて主に在庫商品や嗜好品について本人の承諾を得て差し押さえを行うっており、また普通交付税は国勢調査人口減や、新鶴子ダム償還に係る事業費補正減など今後も減少が見込まれ地方財政計画など国の動向を注視していく旨の説明がありました。

職員研修は独自研修のほか専門研修、また先進地などへの派遣研修を通して資質の向上を図るとともに、健康管理になお一層の配慮を要望しました。

市内全域に光ファイバーが整備され、安価な通信に変更され、悠美館で新規購入されたプロジェクトターなども低価格になりました。

雇用創造事業では、尾花沢スイカを活用したスイカサイダー・ゼリーがあります。また、スイカ酢やドレッシングの新商品を開発中との説明を受けました。

今後の対応は大石田町と協議をしていきます。

花笠高原施設の経営改善の効果はどうか。

森のホテルと花笠大浴場は、平成23年4月から6月分は500万円の赤字でした。経費の削減により平成24年4月から6月は黒字となりました。

農業をおとした食育と学校への給食に地産地消はどうしているか。

児童生徒とともに農業体験を行っています。給食の食材の地産地消は夏期のみ食材が多くなりありますが可能な限り地元産を利用しています。米は100%はえぬきにピタミン強化米を加えて児童生徒の健康増進を図っています。

決算書にパソコン関連が42項目ほどあるが庁舎内に何台あるか。専門職員の配置はどうか。

パソコンが355台、サーバーが30台あります。リースは5年契約になります。今後はクラウド利用などより安価なシステムを検討していきます。担当課では経験のある職員が担当しています。

身体障害者など利用の福祉タクシー券の使用率はどうか。

申請者233名、交付枚数7千977枚、使用枚数3千542枚で使用率は46・1%です。タクシー券ではなく通院のため自家用車を利用した時の給油券支給も始まりました。

項目について実施しています。市税の未納対策はどうしているか。

平成22年11月から収納対策本部を設置し未納者に対し、相談日を開催し分納など納税可能な方法を提示しています。

職員の総合検診・健康管理はどのようになされているか。

健康診断で410名が受診し55%に当たる226名が要精検の診断がされており、治療・健康相談会や受診勧奨を行い、健康維持に努めています。

消防職員の大量退職の対応と大石田分署の今後の対策はどうか。

平成27年度の大規模退職にそなえて47名から51名に定数改正をしておこなっています。大石田分署は昭和50年建築で老朽化しており、



昭和50年建築の大石田分署

### 第2分科会

(市民厚生)

芦沢駅管理業務委託の人的配置については、これまでの経緯を踏まえ、地域住民並びに駅利用者に配慮しながら今後も無人化にならないよう要望したところであり、翌年度に向け委託時間を通学、通勤時間帯に変更するなどして対応していく旨の説明を受け了承しました。



無人化にならないよう要望した芦沢駅

路線バスの運行については、今後学校の統廃合に伴うスクールバスや園児送迎バスの混乗利用も図りながら、各路線の利用状況、利便性を把握し、効率的に行っていくよう要望しました。

徴税について納税相談員及び税務課職員による市税等の徴収対策や訪問徴収の詳細な説明を受け、

### 第3分科会

(産業建設)

付託案件について慎重に審査し、いずれも原案どおり認定すべきと決定しました。

歳入については、市営住宅使用料滞納について計画的に納めてもらえるよう対策を取っていることを評価し、さらに相談しながら滞納解消に努めるよう要望しました。

歳出については、畜産業では、子牛の値段が高騰していることから、将来的に畜産団体などで繁殖を検討するよう要望しました。

農地・水・環境保全事業について、各集落における事務局の設置運営への支援を要望しました。

そば産地化事業について、尾花沢産そばの振興と品質保持のさらなる向上を要望しました。また、基幹産業である米について、米そのものの付加価値を高める対策を要望しました。

休廃止鉱山の坑廃水処理について、廃水処理は永年続くこと予想され、止めると他所に流れる危険があることから、適切な処理についてさらなる研究を要望しました。

花笠高原スキー場について、市内の中学生以下の使用料無料化を評価し、市民スキー場として利用拡大を図るとともに、優秀な人材が育成される運営を目指すよう要

望しました。

甚大な被害を受けている有害鳥獣対策について、電気柵が効果を上げていてキットも販売されていることから、支援強化を図るよう要望しました。さらに駆除の効果的対策の研究を要望しました。

冬の生活の安全性を重視し、除排雪の水準を保つとともに、流雪溝について、湯水期の水量確保の対策を検討するよう要望しました。



発売から1ヶ月で完売したスイカサイダー





塩原未知子 議員

### インターネット議会中継 はじまる！

**質** 9月定例会より議会のネット中継がはじまったが、市民への周知はどうなっているか。

**市長** 市報お知らせ版やホームページで周知を図っています。インターネットの接続環境にない方は、各地区公民館で視聴できる旨、PRしています。なお、録画中継は議会終了後おおよそ一週間後に配信される予定です。

**質** 発祥地の花笠まつり文化の継承について、こだわりは何か、今後どのようにしていくのか。

**市長** 「花笠を活かしたまちづくりを進めるため、平成21年度より3カ年にわたりふるさと雇用再生特別基金事業で、花笠製作の技術習得及びスゲ栽培から笠づくりまでを実践する「花笠の里づくり」セミナーを雇用創造協議会事業として昨年度から開催しています。発祥地のこだわりについては、今後実行委員会などで内容を種々検討していきたいと考えています。

**質** 農業の6次産業支援をはかるうえで尾花沢独自の産直マップを作成したり、庁舎内若手職員から発案された尾花沢特産隊「おばね

ごっつお3」をもっと活用させる考えはないか。

**市長** 「おばね特産隊ごっつお3」はこれまで首都圏を含め、市内外のイベントなど、18回、延べ57名が出演しています。今後とも、参加職員の拡大を図りながら、情報発信に努めていきたいと考えています。

**質** 雪冷房プロジェクトの実績と市民への普及を含めた当市の再生可能エネルギー活用の今後の展望はどうか。

**市長** 今年度当初の雪山は2千600㎡で、昨年より大きく、今年は特に、暑い日が続いて昨年よりも1週間早い6月22日から9月中も稼動しました。雪冷房については湿度が低いという特徴があり、雪冷房設置箇所の効果が実証されています。雪冷房の効果を市民に周知していきますが、雪をストックするための経費や冷気を引き込むための配管などの経費も必要であることから、イニシャルコストやランニングコストの軽減策も含めて検討していきます。

## 一般質問



伊藤精一 議員

### 少子高齢者対策について

**質** 少子化対策については、今後どのようなことを考えているか。

**市長** 子育て支援サービス内容の充実化と放課後児童クラブ未設置地区への開設、さらには、休日預かりなどについて検討を行っています。

**質** 一人暮らしの高齢者が、雪対策や災害発生時の対応、医療機関への受診や買物など、高齢者に対する支援状況や緊急通報システム設置の状況などについてはどうか。

**市長** 現在、雪対策としては除雪券の交付、福祉隣組制度、買い物や通院支援として市営バス運行と御用聞き制度と配食サービスがあります。今後、要援護者台帳登録世帯には、救急医療情報キットの配布を予定しています。

**質** 婚活について今県も支援しているが、市は、物心両面についてもっと支援すべきと考えるが今後の対応についてはどうか。

**市長** 本市では、尾花沢市結婚促進協議会「Lalaネット」を組織し、個別の結婚相談を実施するほか、登録制による個人情報保護に配慮した形で、個別マッチングを

中心に活動を展開しています。昨年度は、相談者の中から婚約者予定含むが4組あり、今年に入って結婚式を挙げるなど、地道な活動が実を結んでいます。また、県では新たに「やまがた結婚サポートセンター」が開設されたので、成婚につながるサポート体制の強化を図っていききたいと考えています。

**質** 6次産業の推進について、農村を活性化するには、農産物の付加価値を高め収入の増大をはかることが大切なので市としてどのようなことを考えているのか。

**市長** 今般、スイカゼリー、スイカサイダーが発売され、好評のうちに、今年度分は完売しました。また、スイカを利用したドレッシング、焼肉のたれ、スイカ飴、畜産物加工品では、どぶろく入り牛すじ煮込みを開発中です。また、南沢カブや牛房野カブなどがありますが、伝承と担い手育成について支援していきます。新たに、焼畑農法で細野カブを作付し、加工販売の取組みに期待をしているところです。



加藤克彦 議員

### サル・クマの追い払いに モンキーグッズの導入を

**質** ドクターヘリランデブーポイントの冬期間の体制構築と、ランデブーポイントの増設を図ってはどうか。

**市長** 冬期間は、常時除雪体制が確保できることが条件になりますので、消防署前の訓練場と道の駅「ねまる」が可能と考えています。増設については、規格、条件、救急車の進入などを考慮し、今後もふさわしい場所があれば県に申請していききたいと考えています。

**質** 学校統廃合後のスクールバス運行を路線バス、園児バスを含め将来的な運行方法と雇用面からも近隣市町村に合わせた委託金額に見直しし、就労と雇用をしやすいとはどうか。

**市長** 学校統廃合に伴うスクールバスの運行は、登下校に支障をきたさないことを念頭におき、路線バス、園児送迎バス、スクールバスの効率的な相互利用を図るためバス相互利用調整会議において検討しています。今後、近隣市町村の状況も調査し、効率的な運行を図っていきます。



青野隆一 議員

### 人口減少に歯止めをかける 政策を！

**質** 少子化対策の重要課題として『結婚推進室』を設置するとともに、子育て支援として日曜保育を実施してはどうか。

**市長** 県の「やまがた婚活応援プラス」を含め、広域的な連携を強化し、今まで以上の支援を図っていきます。日曜保育については、休日預かりも含め今後検討していきます。

**質** 災害時要援護者避難支援事業と福祉隣組制度とを一体化した取り組みをしてはどうか。

**市長** 災害時の対応については、自助・共助・公助が基本と考え、社会福祉協議会との連携を強化していきます。

**質** 定住促進の政策課題を打ち出すために、転出者へのアンケートを実施してはどうか。

**市長** 「第6次総合振興計画」策定の際に実施するとともに、「ふるさと暮らし応援事業」に申請された方々へアンケートをお願いし、意見をいただいています。

**質** 地中熱など再生可能エネルギーを活用した雪に強い低価格住宅地を造成してはどうか。

後の販売PR戦略と6次産業化が期待されているスイカパウダーの開発状況はどうか。

**市長** 今年は、スイカサイダー1千176ケース、スイカゼリー646ケースを製造し完売しました。8月より、日本橋三越本店でも販売しています。高果汁飲料として、健康志向にマッチした戦略も考えています。スイカパウダーは、付加価値を高め、年中利用活用できるようにパウダー化するものです。健康食品や地元特産品の原料としても活用を期待しています。

**質** 鳥獣対策サル、クマに電気柵の推進、高周波エルラッドやモンキーグッズによる追い払いを試験的に導入を考慮してはどうか。

**市長** 有害鳥獣対策は、人命と財産を守ることを主眼に、目撃情報があると、警察、地元区長などと連携して、チラシ、立看板などで注意を喚起しています。サルや熊には、箱わなの設置、花火、電気柵などで対応してきました。エルラッドやモンキーグッズによる対策については、実施している市町村を参考に研究していきます。

**市長** 地中熱などの活用については、今年度から実証事業を行い、結果を踏まえ検討していきます。

**質** 雪処理が困難な高齢者世帯が、冬期間だけ使用できる生活支援ハウスを設置してはどうか。

**市長** 高齢者の多様なニーズに対応する居住空間を整備する上で、どの程度の要望があるか実態把握をする必要があると思われま

**質** 『人・農地プラン』では救われない3ヘクタール未満の中堅農家に対する支援策と農業収入の確保をどう図っていくのか。

**市長** 安全・安心で高付加価値・高品質な農産物の生産体制を充実し、優良経営体の事例を踏まえ、所得向上に向け関係機関と連携し指導していきます。

**質** すいか残渣や堆肥を使用したバイオマスや太陽光エネルギーを活用した電気柵など鳥獣被害防止システムの開発を進めてはどうか。

**市長** 太陽光パネルを使った電気柵が市販されていますが、今後は現在設置している電気柵の改善の情報提供などについて協力していきます。



星川睦子 議員

### ナラ枯れ被害地の再生に向けて 植樹プランを！

**質** 中央診療所の医薬分業について。複数の医療機関を受診している場合の重複服用回避や、薬剤師に時間的ゆとりができて服薬指導など本来の知識や技量を発揮してもらえるなどのメリットがあることから、院外処方箋発行に切替えるべきではないか。

**市長** 入院・外来診療と併せ時間外救急医療などを行っており、これらにおける調剤の必要から院内処方を行っています。医薬分業の普及率は平成22年度で63%であり、院外処方に移行した場合の課題について検討していきます。

**質** ナラ枯れ被害地の再生にむけて

①再生は自然にまかせていては難しいと聞いている。再生プランが必要ではないか。

②ナラ枯れは動物の餌になるドングリの減少になり、有害鳥獣被害対策の一環としても、植樹を進めるべきではないか。

**市長** ①「尾花沢市森林整備計画」を策定し取り組みを進め、「山形県ナラ枯れ被害対策推進計画」に基づいて



大類準一 議員

### 国道347号の整備について

**質** 国道347号の通年通行に向けた整備計画はどうか。また、危険箇所や冬期間の安全通行について、早期に調査を行い整備をすすめてはどうか。

**市長** 先の東日本大震災をふまえ、防災上横軸整備の重要整備路線として今後5年以内で一日も早い通年通行を図るとの方向性が示されています。宮城県側未改良区間は今年度より工事が始まり、その後落石や冬期間の雪崩対策、除雪体制の整備を行うと聞いています。山形県側でも今年度調査費を計上し、両県が連携のもとに進めていきますので、市でも、より安全な通行にむけて働きかけていきます。また、交通量の増加が予想され、バイパス化も含め対策を県と協議していきます。

**質** 花笠ニュータウンの分譲宅地販売状況はどうか。花笠ニュータウン第2期工事を含めた今後の分譲宅地の造成についての考えはどうか。また、市営住宅の建設計画はどうか。

**市長** 花笠ニュータウンについては、平成18年度に37区画で販売開始は、平成18年度に37区画で販売開始以来31区画が売れ、予約1区画残り5区画です。第2期は、第1期が7年経って残っていることもあり今後検討します。市営住宅については、平成15年策定の公営住宅ストック活用総合計画に基づき住宅全体および民間住宅とのバランスを考慮しながら、関係課で協議を行い、方向性を示していきます。

**質** 畜産に供する飼料用米と稲ワラの栽培状況、作付面積拡大に向けた取り組みはどうか。スイカ栽培の農業後継者対策、市の地域特性を活かした農業振興策について

**市長** 飼料用米は戸別所得補償で10aあたり8万円の助成があり、作付希望農家は増加していますが、需要量と調整する必要があります。稲ワラについては、緊急稲ワラ確保対策事業により、機械を導入し需給率の向上に努めています。スイカの生産は若手生産者が規模拡大を図っており、意欲ある経営体への面的集積と「やる気のある農業者等育成支援制度」など活用して指導に努めます。

## 一般質問



菅野修一 議員

### 地域農業や経済を崩壊させる TPP加入は断固阻止を

**質** 多くの流雪溝整備を求める市民の声にこたえるべく、流雪用水の確保、水利権の調整や取得といった水ネット作りを推進する仮称利水専門員を配置してはどうか。

**市長** 流雪溝用水の確保について今年度から県、土地改良区とも連携しながら、情報交換をしているところ、利水専門員の配置については、関係課も含め今後検討します。

**質** 地域水ネットづくりプロジェクトは、「尾花沢市流雪溝整備全体計画」を活かしつつ流雪用水の循環網に発展させるよう検討していくとともに、水の全体計画も含めて関係課と連携し、協議していきます。

**市長** 新市庁舎建設や尾花沢市大石田町環境衛生事業組合のし尿処理場建設、そして新鶴子ダム関連の国営機能保全事業など大きな事業が迫っている中、中長期の財政計画策定の必要があるのではないかと

**市長** 長期財政計画については、第6次総合振興計画（おばなざわ元気創造プラン）に基づく各施策を着実に推進し、より実効性のあ



石塚ミツ子 議員

### いじめ防止とそれによる 自殺者を出さないために

**質** 大津市の痛ましいいじめ自殺問題でどんな議論をし、どんな教訓を得たか。いじめ防止は何を心がけ何を行うべきと考えるか。

**教育長** 定期的いじめ調査を、年間3回行っていますが、把握したことは、「いじめ」へと発展している事案は現時点では「ない」ということです。

また、国や県からの通知も相次ぎましたが、各学校に対しては、より具体性のある指導を心がけてきました。

**質** 食育基本法推進のためどのようなことを行っているか。

**市長** 「家族みんなが、食を通じて生きる力を育む」を基本理念に、幼少期から成人期の各年代におけるバランスの取れた食生活習慣改善健康教室などを開催しています。

**質** 生活習慣病（高脂血症、糖尿病、骨粗しょう症、高尿酸血症、ガン）が急増しているがその予防と早期発見早期治療をどう進めているのか。

**市長** 子育て世代から正しい食習慣について啓蒙普及を進め予防に努めています。

また、特定健康診査やがん検診の受診を促し、早期発見早期治療の取り組みを行っています。

**質** 生活習慣病の低年齢化も心配されているがその防止策はどうか。

**市長** マタニティ教室・乳幼児健診などを通して保育園や学校における規則正しいバランスの取れた食生活習慣の習得などを通じ、健康づくりを進めています。

**質** 子どもの生活習慣病、その予備軍の発見に有効とされている血液検査の導入をどう考えはるか。

**市長** 該当する検査は

①身長、体重測定を行っており、そこからBMI指数を算出し肥満度を測定している

②尿検査を行い、尿糖値を検査している

予算的なことやその効果も含め十分な検討が必要と考えています。

**質** 高齢化社会進行のなか一人で暮せない人が増えていくが、高齢者向けの集合住宅を建設する計画はないか。

**市長** 空き家対策なども踏まえて、高齢者住宅の情報収集に努め、総合的に検討します。

## 可決された議案

### 7月臨時会

- 議第49号 平成24年度尾花沢市一般会計補正予算(第4号)
- 議第50号 ロータリ除雪車購入契約の締結について

### 9月定例会

- 認第1号 平成23年度尾花沢市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認第2号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第3号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第4号 平成23年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第5号 平成23年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第6号 平成23年度尾花沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第7号 平成23年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議第51号 平成24年度尾花沢市一般会計補正予算(第5号)
- 議第52号 平成24年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議第53号 平成24年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 議第54号 平成24年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第1号)

- 議第55号 尾花沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第56号 尾花沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第57号 尾花沢市医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第58号 尾花沢市花笠高原施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第59号 尾花沢市防災会議条例及び尾花沢市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第60号 尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第61号 山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について
- 議第62号 尾花沢市教育委員会委員の任命について
- 議第63号 尾花沢市教育委員会委員の任命について

### 議会案

- 議会案第6号 尾花沢市都市計画審議会委員の推薦について
- 議会案第7号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
- 議会案第8号 介護保険における特別養護老人ホーム等の施設の取扱い等に関する意見書の提出について
- 議会案第9号 脳脊髄液減少症の医療に関する意見書の提出について

## ◆ 請願の審査結果 ◆

### 採択された請願

- 平成24年請願第9号  
◎脳脊髄液減少症の医療に関する請願  
代表 荒川ミキ子
- 平成24年請願第10号  
◎介護保険における特別養護老人ホーム等の施設の取扱い等に関する請願  
代表 池田 俊郎

- 平成24年請願第12号  
◎地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願  
代表 小関 常良

### 継続審査される請願

- 平成24年請願第11号  
◎ハリマ林道の市道編入に関する請願  
代表 大貫寛一郎



- 会長 大貫寛一郎
- 中川区長 柴崎 良作

## ◆ 意見書の審査結果 ◆

### 可決された意見書

- ◎地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について  
急速な高齢社会が到来し、国の歳出に占める社会保障関係費の割合は5割を超え、社会保障の機能強化と持続可能性の確保が一層重要となっている。子育て、医療、介護など多くのサービスを提供する地方自治体の役割が高まっており、地域の雇用確保、介護、福祉施策の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など地域雇用と結びつく政策の充実強化が求められている中で、25年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、政府に次のとおり対策を求める。

- 被災自治体の振興費は、国の責任で確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。
- 医療・介護・子育て支援分野の人材確保など少子高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など増大する財政需要を的確に取り入れ、25年度地方財政計画を策定すること。
- 地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再分配機能の強化、国税5税の法定率の改

善、社会保障分野の単位費用の改善、国の直轄事業負担金の見直しなど抜本的な対策を進めること。

### ◎介護保険における特別養護老人ホーム等の施設の取扱い等に関する意見書

介護保険事業での国の方針は本市のような地域の実情から乖離する内容が多分に含まれており、今後非常に困難となる懸念がある。在宅介護と施設介護の均衡を図り、介護難民等の発生を抑止し、本市のような豪雪過疎地という特異な地域の実情に基づいた施策が図られるよう強く求める。

1. 介護保険において、在宅介護と施設介護の均衡を保持し、在宅介護優先で特別養護老人ホームの経営弱体化につながらないようにして頂きたい。
2. 地域包括ケアシステムの全国一律推進は受入れ困難であるので地域の実態に合致する対策を行って頂きたい。
3. 所得水準の低い地域にとつては、新規ユニット型個室利用料金が高額となるため、多床室の希望も根強いことから、個室と多床室の適度に混在する整備を

認めて頂きたい。

4. 介護の現場で働く者の将来展望が開ける処遇制度を構築し、人材の確保にも積極的に公的支援策を講じてもらいたい。
5. 豪雪過疎地域の独居、高齢者のみの世帯における除雪、交通等の課題も山積する中で、要介護状態高齢者対策と共に要支援策も早急かつ確実に実施に即して改善して頂きたい。

### ◎脳脊髄液減少症の医療に関する意見書

脳脊髄液減少症は交通事故、スポーツ等の衝撃で脳や脊髄を覆う硬膜が損傷し、髄液が漏れ出て、頭痛など様々な症状を引き起こしている。平成24年5月17日に脳脊髄液漏出症を対象疾患とするブラッドパッチ療法が先進医療に認定された。この治療費は自己負担となるものの診療、検査、投薬、入院料等は保険診療が可能となつて患者にとって朗報とはなつたものの脳脊髄液減少症患者の1/2割とみられ、多くの患者は高額な医療費負担を強いられている。よつて、国において次の措置を講じらるべき。

1. 脳脊髄液減少症の治療として一刻も早く、ブラッドパッチ治療を保険適用にしてもらいたい。
2. 厚生労働省は、脳脊髄液減少

症の治療研究の募集を広く公表し、希望者は調査研究に協力できるような体制を構築されたい。

3. 脳脊髄液減少症と診断された患者の治療は、将来的に医療費の窓口負担を無料にすること。

## 北村山広域行政事務組合議会

平成24年9月27日、村山市議場において定例会が開催され、平成23年度決算の認定、平成24年度一般会計補正予算、教育委員会委員の任命についての3案件は原案の通り可決されました。

平成23年度の決算は、歳入が1億4千909万8千321円、歳出が1億3千457万7千220円となりました。教育委員会委員は、五十嵐梯二委員の後任として、布川元委員大石田町)が任命されました。

また、同日行われた北村山教育賞表彰式は、県立村山農業高等学校の又新連が受賞しました。学校教育を通して地域の文化活動の功績が認められたものです。



## 議会日程

- | 8月                              | 9月                                     |
|---------------------------------|--|
| 5日 御所の水公園ハスまつり                  | 3日 9月定例会本会議・議会だより編集委員会                 |
| 6日 県市議会議長会議員研修会                 | 4日 総務文教常任委員会・市民厚生常任委員会・産業建設常任委員会       |
| 15日 尾花沢市成人式・牛肉まつり               | 5日 本会議一般質問                             |
| 24日 議会運営委員会・会派会合・全員協議会・林活議員連盟総会 | 6日 本会議一般質問・林活役員会                       |
| 25日 いわぬま復興夏まつり                  | 7日 決算特別委員会総括質疑                         |
| 28日 おばなざわ花笠おどりパレード              | 10日 決算特別委員会総括質疑及び3分科会での決算審査            |
|                                 | 11日 決算特別委員会分科会                         |
|                                 | 14日 決算特別委員会分科会委員長報告・本会議常任委員長報告・議会運営委員会 |
|                                 | 18日 本会議(最終日)                           |
|                                 | 27日 決算特別委員長報告・表決・議案の審議・質疑表決            |
|                                 | 30日 北村山広域行政事務組合定例会 首都圏尾花沢会総会           |